

## 巻頭言

### CALEDONIA の合本（第 1 号～第 4 号、 10 周年記念号） 刊行にあたって

日本カレドニア学会代表幹事  
木村 正俊

日本カレドニア学会は 1958 年（昭和 33 年）8 月に創立されてから、今年でちょうど 50 周年を迎えました。まことに慶賀すべきことです。そこで学会は、この機会に記念事業の一環として、学会の草創期に刊行された学会誌 CALEDONIA の第 1 号から第 4 号までと、10 周年記念号のあわせて 5 冊を完全に元の形で復刻し、合本として発行することにしました。

これらの号は、学会発足の経緯やその後の活動、会員の研究内容や動向などを伝える貴重な資料ですが、原物がほとんど残っておらず、現在はまったく入手不可能な状況です。スコットランド研究の錚々たるメンバーによる輝かしい業績をたどるためにも、これらの号は必須の文献であり、以前から入手を希望する声が高まっておりました。

これらの CALEDONIA 誌をいま手に取ってみますと、ページ数はともかく、現在の CALEDONIA とくらべ紙質は劣り、タイプ印字に多少不具合があるうえに、校正ミスも散見されますが、しかし、内容的には当時の日本の英語・英文学界をはじめ他の領野を代表する研究者たちが寄稿しており、後塵を拝する者としては、瞠目すべき見解や有益な情報が満載されていることに深く感じ入ります。

1958 年 9 月 1 日発行の第 1 号（第 1 輯）は 20 ページの薄い冊子ですが、学会の指導者であった大和資雄氏が「会の成立まで」を書いているほか、学会を立ち上げ、その後の活動を牽引した高橋豊秋、難波利夫、小牧英幸の 3 氏が門出を祝う記事を載せています。以後 1959 年 9 月 25 日発行の第 4 号まで精力的に刊行されますが、いずれの号もスコットランドに限らず、幅広いテーマでの有益な興味深い記事が掲載されております。ロバート・バーズ関連の記事は毎号のように掲載されますが、ことに 1959 年 5 月 25 日発行の第 3 号は「バーズ生誕二百年記念講演集」と題する特集を組んでおり、バーズ愛好者の多かった日本カレドニア学会らしい編集として大いに注目されます。

ところが第 4 号が発行された後、学会の財政面の事情があったせいであろうか、発行が中断し、次に発行が再開されたのは 1968 年 12 月 25 日のことで、

復刊第 1 号・10 周年記念号となっています。今回はこの号をも含めて合本とし、情報量を多くしました。

この記念出版の合本を通じて、多くの方が今後のスコットランド研究を深め、あわせて本学会の歴史をひもとくことに役立ててくださるよう祈念してやみません。

最後に、製作をお引き受けいただいた蔦友印刷（株）に対し、深甚の謝意を表します。